

第32回 全国大会研究発表会 12月3日（日）午前

時間	第1会場 (A22)	第2会場 (A23)	第3会場 (A24)	第4会場 (A41)	第5会場 (A43)	第6会場 (A42)	
1セッション 9:00 ～ 10:40	(司会：米田誠司) 〈観光政策〉 1 新たな転換を迎える「訪日外国人旅行」の宿泊施設について—「農泊」と「住宅宿泊事業法」の現代的意義について— 出口高靖 2 観光プロモーションの効果推定に関する一考察 古屋秀樹・野瀬元子・崔瑛	(司会：内田彩) 〈地域振興・コミュニティ〉 58 白川郷における観光地交通対策の継続要因に関する考察—地域コミュニティ主体による協働の仕組みの視点から— 柏木千春 59 世界遺産観光とポリティクス—軍艦島の事例から考える— 深見聡・沈智炫 60 歴史的町並みの保存と活用—旧東海道路名古屋市有松のまちづくりを事例として— 辻のぞみ 62 地域観光に関わる女性の活動と意識—社会関係資本を軸として— 中子富貴子 61 北海道標津町における地域住民の資源利用をめぐる観光ガバナンスの実態 森重昌之	(司会：峯俊智穂) 〈観光・ホスピタリティ〉 73 外国人観光客における歴史的予備知識の実態について—本能寺を事例として— 山下裕明 74 インタープリテーションのスキルに関する研究—北海道の登山ツアーを視点として— 唐箕環 75 米国におけるHAMの教育プログラムに関する研究—コーネル大学を事例として— 金振暎・渡邊浩良・具敏靖 76 インターンシップにおけるクラウドサービス型コミュニケーション—インターンシップのためのコミュニケーションアプリの機能と有用性に対する検証— 山田祐子 77 ローカル地域の国際観光地化に伴う英語コミュニケーション力の変化 藤田玲子・デルガド ロドルフォ	(司会：山本清龍) 〈国際観光〉 90 ケベック州モンリオールの観光資源についての一考察 羽生教子 92 Assessing Inbound Tourism Development at Mitarai District in Kure City, Hiroshima through Employing a Monitoring Tour USUI R・ANINDITA M. J. 93 ハラルに関する先行研究とハラル・ビジネスの現状—スリム・インバウンドを対象とした「ハラル」について— 杉山維彦 94 山岳観光に見る日本人旅行者の実態と今後のマーケティング—フランク・ジャモニーの事例— 瑠泉 95 温泉地におけるヘルストゥリズムの推進要因と課題—大分県と福岡県の事例分析より— 堀桂子・ヴァファダリ カゼム M	(司会：室岡祐司) 〈観光の歴史・文化〉 42 「雲仙キャンプ」と「カンバspanガロー」について—新たな知見に基づく実態の解明— 上田卓爾 43 「特撮ツーリズム」の誕生と変遷—二重作昌満・田中伸彦 44 A. シュッツの概念による真正性の批判的継承—ヒンドゥー教聖水文化を事例として— 中鉢令兒 45 旅行商品におけるパワースポット—“スピリチュアルなもの”の商品化は可能か— 鈴木涼太郎 46 ダークツーリズムと博物館—戦争と平和の視点から— 井出明	(司会：大方優子) 〈観光行動〉 27 観光者の歩行速度に着目した回遊行動の分析—香川県女木島を事例として— 松尾圭悟 29 富士山登山者による富士山保全協力金への支払意志に関する実証分析 吉田謙太郎 30 北アルプスと富士山における登山者の登山目的や属性等の相違 小林裕裕・ジョーンズトマス 31 ファンとの宿泊を伴う「遠征」行動とファンツーリズム 幸田麻里子・臺純子・崔錦珍 32 中国人訪日客の観光行動の多様性に関する研究—研修旅行と個人手配旅行の事例を中心に— 王崑雪	
	2セッション 10:50 ～ 12:30	(司会：清野隆) 〈観光政策〉 6 持続可能な地域社会の運営に資するエコツーリズムの課題—エコツーリズム推進法認定地域調査に基づく試論— 海津ゆりえ・真板昭夫 7 欧米型DMOのマネジメント特性の日本への適用—日本の観光振興組織構造の実態分析— 高橋一夫 〈都市観光〉 55 まちなか観光に関する一考察—まち歩き観光とスタンプラリーの事例から— 稲葉雅子 56 訪日外国人を対象としたホテルの交流機能に関する予備的考察—東京台東区浅草「アムカ ホテル トウキョウ」を事例として— 佐藤郁・安江枝里子 57 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録の取組みと観光客の受け入れ 崔瑛	(司会：深見聡) 〈地域振興・コミュニティ〉 63 JR只見線復旧を選択した地域住民の挑戦—鉄道と共存する地域の再構築— 中原浩子 65 来訪者と地域住民の関係性における観光ボランティアガイドの役割—観光ボランティアガイド団体に対するアンケート調査からの考察— 吉田常行 66 和東町を茶源郷へ導く新たな潮流について—若い移住者による和東町変容のメカニズム— 望月徹 67 廃校施設を拠点とした観光まちづくりの可能性と課題 川澄厚志 64 着地型観光の手法から地域連携交流事業としての展開へ向けた考察—地域活性化と観光事業の地域レベルでのDMO形成— 金井萬造・峯俊智穂	(司会：直井岳人) 〈観光・ホスピタリティ〉 78 大学の教育資源を活用した観光ボランティアガイドのスキルアップに寄与する講座の実施とその役割—「大阪文化ガイド+講座」への評価を通じて— 天野景太 79 大学生の主体的学びと地域人材育成のための地域連携学習へ向けた考察—和歌山県田辺市本宮町を事例として— 峯俊智穂 80 観光地域における人材育成プログラムの検討—いしかわ観光創造塾の事例— 種村聡子・敷田麻実 〈農山漁村観光〉 53 日本における農家民泊の普及拡大に向けた考察—イタリア・アグリツーリズム調査結果から— 山田耕生・藤井大介 54 千曲川ワインバレーにおけるワインツーリズムの発展可能性—ワイン産地の発展とワインツーリズムの相互関係— 金子和浩	(司会：山崎隆之) 〈国際観光〉 91 中国人の自然公園地域への旅行行動に関する実証分析 安可・吉田謙太郎 96 外国人観光客へのAR機能を活かした情報発信手法の開発に向けて—北海道・知床での調査結果から得られた示唆— 千葉里美・丹治和典・川名典人 97 外国人ネットワークを活かしたインバウンド観光振興策—糸魚川における言語対応と課題— 本田量久 98 熊本地震発生から一年経過した阿蘇地域における創造的復興 町田怜子 99 訪日教育旅行促進のための持続可能な受け入れ基盤に関する考察 尖戸学	(司会：橋本俊哉) 〈災害と観光〉 81 生態系を活用した防災・減災と観光の役割に関する基礎的研究 丸谷耕太 82 観光地のレジリエンス向上に向けた事業継続計画 (BCP) に関する研究—観光地BCP策定に向けた留意点の考察— 朝倉はるみ 83 ダークツーリズム・近代・リスク—自然災害と観光の結びつき— 齋藤千恵 85 2016年熊本地震による九州観光への影響 (第2報) 横山秀司・室岡祐司・牧野博明 86 石巻市における東日本大震災後のダークツーリズムの実態と課題 佐々木薫子・山本清龍	(司会：富川久美子) 〈観光行動〉 28 訪日中国人旅行者の旅行記を用いた旅行情報抽出方法の基礎的分析 宋紫龍・古屋秀樹 33 奈良を訪れた旅行者の観光経験—観光写真調査法による把握— 林幸史 34 高関与旅行者の関与と行動動機—佐賀県唐津市「ユーリ!!! オンアイズ」の聖地巡礼を事例として— 大方優子・岩崎達也・津村将章 35 メモラブル・ツーリズム・エクスペリエンシー—「旅行前」の記憶に残る経験— 田中祥司 36 戦争祈念施設とツーリズム—訪問者による目的や行動の違い— 永井孝充

第32回 全国大会研究発表会 12月3日(日)午後

時間	第1会場 (A22) (司会：山田耕生)	第2会場 (A23) (司会：崔 瑛)	第3会場 (A24) (司会：西村幸子)	第4会場 (A41) (司会：野口洋平)	第5会場 (A43) (司会：城前奈美)	第6会場 (A42) (司会：宍戸学)
3セッション 14:00 ～ 15:40	<p><観光地計画></p> <p>47 デスティネーションマネジメントフレームワーク(DMF)の概要—ニュージーランドにおける国立公園管理/経営システム— 田中伸彦・二重作昌満・ショウテイ</p> <p>48 クルーズ船寄港地の選定手法に関する研究—北海道を対象とした寄港魅力度の算定— 寺口敬秀・桜井慎一・野口翔・大津俊裕</p> <p>49 観光地の誕生・成長・発展と衰退に関する諸理論—理論的枠組みの形成に向けて— 安島博幸</p> <p>50 スピリチュアルツーリズムの場所性と観光体験—高野山の宿坊と韓国のテンプルステイの比較— 尾家建生</p> <p>51 地域との共生を志向する地元旅行会社の着地型観光に対する取り組みと課題に関する研究 西成典久・八木梨穂</p>	<p><地域振興・コミュニティ></p> <p>68 小学校と連携した着地型観光が地域づくりに与える影響の考察—よそ者としての旅行会社と小学校教員の役割— 原香菜子・高野雅夫</p> <p>72 「和食ガストロノミー」による訪日旅客を地方誘致する視点—熊野の訪日外国人アンケートの分析— 近藤政幸</p> <p>70 まち歩き観光に参加するとは何か—長崎さるく10年間の変化から— 金明柱</p> <p>71 商業者主導の観光ボランティアガイド組織における営利性と非営利性 藤田健</p> <p>69 沖縄県における八景観光の取り組みの現状と課題—浦添八景の制定を事例として— 朴在徳・李聖恵</p>	<p><観光マーケティング></p> <p>9 アジア旅行者による商店街でのショッピング行動に関する考察—函館駅前函館朝市商店街を事例に— 野雅境</p> <p>10 中東市場における訪日プロモーション事業の方向性 石崎雄久</p> <p>11 フードフェスティバルにおける訪日外国人集客プロセスの研究—「17食博覧会・大阪」を事例に— 山川雅行</p> <p>12 「地方創生」と「テレワーク」の推進を「在宅通訳者」を活用して 富吉光則</p> <p>8 潜在的訪問客によるリスクを内包する自然資源を持つ観光地の画像の評価と彼らの個人特性の関係—活火山「桜島」を調査対象物として— 中俣良太・直井岳人・飯島祥二</p>	<p><国際観光></p> <p>100 外国人避暑地日光中禅寺湖畔 手嶋潤一・小島喜美男</p> <p><海外研究></p> <p>101 南チロルのルーラルツーリズムの発展において農村組織が果たした役割 五艘みどり</p> <p>102 台湾における日本史跡を活用した観光イベントに関する考察—通霄神社七夕祭— 葛西洋三</p> <p><観光経営></p> <p>17 小規模宿泊業の労働生産性向上に向けて—鳥羽市宿泊業調査結果から— 井門隆夫・清水清嗣</p> <p>18 観光地域づくり人材育成の手法に関する考察—観光産業と大学の連携プログラムの実施から— 田中智麻</p>	<p><災害と観光></p> <p>84 熊本地震における旅行者のリスク認知と九州旅行実施への影響に関する分析 牧野博明・横山秀司・室岡祐司</p> <p>87 災害復興における観光推進組織・旅行者の役割と機能—2016年熊本地震「九州ふっこう割」を事例として— 室岡祐司・横山秀司・牧野博明</p> <p>88 日本における災害ボランティアツーリズムの展開 下村真代</p> <p>89 観光による震災復興における地域コミュニティの構造分析—宮城県南三陸町入谷地区を事例として— 樋口葵</p>	<p><観光行動></p> <p>37 観光目的地の商業施設における観光学的特性に関する研究—沖縄県那覇市国際通り周辺における観光者と地元商業者による評定の関係性を通して— 仲泊華希・山城健悟・上原明・飯島祥二</p> <p>38 白神山地ビジターセンターの展示に対する来館者の注視行動と意識 佐々木啓・山本清龍</p> <p>39 国内クルーズ観光客の回遊行動に関する試行的分析—京都舞鶴港におけるGPSロガー・質問紙調査のデータから— 佐藤充・江上直樹</p> <p>40 LCC利用訪日外国人観光客の旅行行動について—関西国際空港利用者に着目して— 福本恵子</p> <p>41 中部地方の外国人バスツアー客・個人客の特性と観光行動に関する一考察 澁谷鎮明</p>
	4セッション 15:50 ～ 17:10	<p>(司会：中村哲)</p> <p><観光地計画></p> <p>52 うきはブランドの形成過程に関する一考察 古賀学・三浦知子</p> <p><その他></p> <p>103 旅行会社のWebサイトは何を示すことが求められるのか?—Webサイトにおける企業情報の開示とデザインに注目して— 川久保博・小口孝司</p> <p>104 埋蔵文化財(遺跡)の活用における地方公共団体(行政)の役割への考察—文化財の「存在」と「利用」という2者の思考に着目して— 和泉大樹</p> <p>105 国際会議誘致における開催地選定基準に関する研究 岩本英和・原忠之・松尾徳朗</p>	<p>(司会：鄭玉姫)</p> <p><その他></p> <p>106 屋久島における観光発展と地域への影響 富川久美子</p> <p>107 成田空港、国内LCC就航から5年で見た変化と課題点 鳥海高太郎</p> <p>108 観光を通じたマイノリティへの態度の変化—大阪コリアタウンを例に— 丸山奈穂</p> <p>109 日本の国内旅行・観光行動は増加したか減少したか—長期統計データによる分析— 伊藤薫</p>	<p>(司会：阿南透)</p> <p><観光マーケティング></p> <p>13 ワインターリズムとフードツーリズムの一体化に関する考察 桃井謙祐</p> <p>14 観光分野における「おもてなし」現象への考察—狩野モデルを補助線として— 森直人</p> <p>15 東京近郊観光地におけるインバウンド観光実態—高尾山を対象として— 屋代雅充・栗原剛・少路潔太郎</p> <p>16 フルパッケージ型海外パッケージツアーの継続的販売と旅行者の経験・知識・スキル 野口洋平</p>	<p>(司会：井門隆夫)</p> <p><観光経営></p> <p>19 サービス人材の業務能力と問題解決スタイルに関する研究—日本旅館の接客従業員を中心に— 姜聖淑</p> <p>20 島嶼地域における観光開発に対する住民行動の探索的研究—沖縄県を中心に— 宮城博文</p> <p>21 観光まちづくりにおけるエリアのマネジメントに関する基礎的考察—AMMAの観点から— 西井和夫・古屋秀樹・ロマオ ジョアオ</p> <p>22 宿坊の現代的変容—「宗教コーディネーター」の役割に注目して— 吉田全宏</p>	<p>(司会：安田慎)</p> <p><観光経済・産業></p> <p>23 レオンチェフ乗数による観光の経済効果の推計—沖縄県を事例に— 金城盛彦</p> <p>24 国内における宿泊施設型ゲストハウスの実態に関する考察—2017年に実施した質問紙調査を基に— 石川美澄</p> <p>25 十和田湖と奥入瀬渓流の来訪者特性比較 齋藤雅晃・山本清龍</p> <p>26 観光まちづくりにおけるイノベーションの源泉—ゆふいん料理研究会からの一考察— 米田誠司・大澤健</p>